

都心部の 放置自転車対策に ご意見を

身近で便利な移動手段である自転車。しかし、駐輪場以外の場所に乱雑に置かれるなど、マナーの悪化が問題になっています。特に都心部では、大量の自転車が放置されており、歩行の妨げになるなどの問題があることから、新たな駐輪場の整備を検討しています。この誌面では、放置自転車の現状や、新たな駐輪場を整備する場合の方法・課題を紹介しますので、ぜひご意見をお寄せください。

放置自転車に関するお問い合わせは、自転車対策担当 ☎211-2456

放置自転車の現状

駐輪場から自転車があふれている

市では現在、市内に約50,000台分の駐輪場を設置していますが、自転車数が駐輪場の容量を超え、歩道や建物脇などに放置されている状況です。中でも都心部は、各区からの乗り入れもあるため、駐輪場の容量を大幅に上回っています。

■都心部（札幌駅、大通地区）の
自転車数（平成23年7月の平日の一日）

都心の駐輪容量5,467台			
8時 30分	2,297台	3,170台	5,801台
15時	1,996台	3,471台	10,275台

■ 駐輪場の空き台数
■ 駐輪場に止めてある自転車数
■ 放置自転車数

平日の1日で見ると、
都心部では、朝は約5,800台、
日中は約10,000台もの
自転車が放置されている！

整理誘導員の方に
聞きました



市の委託を受け、
自転車の
整理・誘導を行う
みつはし やすまさ
三橋 保正さん

歩行者がつかず危険も

歩道に自転車が無秩序に放置されると、通行の妨げになるだけでなく、歩行者がつかずき、転倒する可能性があります。特に狭い歩道では、放置自転車が点字ブロックをふさぐこともあり、目の不自由な方は危険を感じています。目的地から少し遠くても、空いている駐輪場を探して止めてほしいです。



自転車の整理をする三橋さん。観光客に誇れる景観をつくるためにも、放置自転車対策は大切、と話す。

市に苦情が寄せられています 一部を紹介

- バス停付近に自転車がたくさん止められていて、乗り降りに苦労した
- 自転車が路上にはみ出して放置されており、車が通れない
- 大通公園の芝生や、歩道の植樹帯に自転車が止められていて、草木がかわいそう など



自転車の乗り方マナーについての声も

歩いていると自転車とぶつかりそうになったことはありませんか？ 自転車に乗る方は、歩行者に危険な思いをさせていないか、今一度乗り方を見直してみましょう。

[\[詳細\] 区政課 ☎211-2252](#)



車道走行が原則

自転車は道路交通法上「軽車両」であるため、車道通行が原則です。車道の通行が難しい場合は歩道を通行できますが、歩行者優先です。

混み合っている道では押し歩きを

歩行者の間を縫うようにして通行することで操作を誤り、自転車と歩行者が衝突する事故が起っています。人が集まる都心部などの歩道を、やむを得ず自転車で通るときは「押し歩き」を心掛けましょう。